

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第17期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社フォーバルテレコム
【英訳名】	FORVAL TELECOM, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷井 剛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年2月14日に提出した第17期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績の状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第16期 第3四半期連結 累計期間	第17期 第3四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	10,109,406	9,938,590	13,560,475
経常利益(千円)	252,210	<u>166,612</u>	<u>391,631</u>
四半期(当期)純利益(千円)	<u>160,771</u>	<u>55,889</u>	<u>155,483</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>162,343</u>	<u>54,478</u>	<u>155,056</u>
純資産額(千円)	<u>1,926,397</u>	<u>1,723,190</u>	<u>1,919,110</u>
総資産額(千円)	<u>6,191,931</u>	<u>5,829,340</u>	<u>6,345,563</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	<u>963.09</u>	<u>334.80</u>	<u>931.42</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>30.9</u>	<u>29.3</u>	<u>30.0</u>

回次	第16期 第3四半期連結 会計期間	第17期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	<u>624.82</u>	<u>21.24</u>

中略

(注)4. 第16期第3四半期連結累計期間及び第16期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

後略

(訂正後)

回次	第16期 第3四半期連結 累計期間	第17期 第3四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	10,109,406	9,938,590	13,560,475
経常利益(千円)	252,210	185,573	397,951
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失() (千円)	22,515	74,849	21,482
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,943	73,438	21,910
純資産額(千円)	1,743,110	1,565,184	1,742,143
総資産額(千円)	6,008,644	5,671,334	6,168,596
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期(当期)純損失金額() (円)	134.88	448.39	128.69
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.8	27.4	28.0

回次	第16期 第3四半期連結 会計期間	第17期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (円)	473.15	59.10

中略

(注) 4 . 第16期第3四半期連結累計期間及び第16期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失金額であるため記載しておりません。

後略

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績の状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

前略

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が99億38百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益が1億78百万円（前年同四半期比29.1%減）、経常利益が1億66百万円（前年同四半期比33.9%減）、四半期純利益が55百万円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

後略

(訂正後)

(1)業績の状況

前略

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が99億38百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益が1億97百万円（前年同四半期比21.5%減）、経常利益が1億85百万円（前年同四半期比26.4%減）、四半期純利益が74百万円（前年同期は22百万円の四半期純損失）となりました。

後略

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係わる四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係わる四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表については優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	312,455	285,613
その他	179,695	144,288
無形固定資産合計	<u>492,150</u>	<u>429,902</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,777,683</u>	<u>1,664,589</u>
中略		
資産合計	<u>6,345,563</u>	<u>5,829,340</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,323,189	1,128,681
株主資本合計	<u>1,907,897</u>	<u>1,713,389</u>
中略		
純資産合計	<u>1,919,110</u>	<u>1,723,190</u>
負債純資産合計	<u>6,345,563</u>	<u>5,829,340</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	135,488	127,607
その他	179,695	144,288
無形固定資産合計	<u>315,183</u>	<u>271,896</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,600,716</u>	<u>1,506,583</u>
中略		
資産合計	<u>6,168,596</u>	<u>5,671,334</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,146,223	970,675
株主資本合計	<u>1,730,931</u>	<u>1,555,382</u>
中略		
純資産合計	<u>1,742,143</u>	<u>1,565,184</u>
負債純資産合計	<u>6,168,596</u>	<u>5,671,334</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,109,406	9,938,590
売上原価	8,352,142	8,195,313
売上総利益	1,757,263	1,743,277
販売費及び一般管理費	1,505,692	1,564,847
営業利益	251,570	178,430
中略		
経常利益	252,210	166,612
中略		
特別損失		
中略		
減損損失	41,721	-
中略		
特別損失合計	124,345	25,573
税金等調整前四半期純利益	131,162	145,046
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益	163,780	56,227
中略		
四半期純利益	160,771	55,889

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,109,406	9,938,590
売上原価	8,352,142	8,195,313
売上総利益	1,757,263	1,743,277
販売費及び一般管理費	1,505,692	1,545,886
営業利益	251,570	197,390
中略		
経常利益	252,210	185,573
中略		
特別損失		
中略		
減損損失	41,721	-
のれん償却額	183,286	-
中略		
特別損失合計	307,632	25,573
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	52,123	164,006
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失()	19,505	75,188
中略		
四半期純利益又は四半期純損失()	22,515	74,849

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,780	56,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,437	1,749
その他の包括利益合計	1,437	1,749
四半期包括利益	162,343	54,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,364	54,141
少数株主に係る四半期包括利益	2,978	336

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失()	19,505	75,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,437	1,749
その他の包括利益合計	1,437	1,749
四半期包括利益	20,943	73,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,922	73,102
少数株主に係る四半期包括利益	2,978	336

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	120,530千円	117,397千円
のれんの償却額	48,222	35,241

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	120,530千円	117,397千円
のれんの償却額	231,509	16,280

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

前略

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP & Mobileソリューション事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

(記載なし)

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	212,295
セグメント間取引消去	442
のれんの償却額	34,307
四半期連結損益計算書の営業利益	178,430

後略

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

前略

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP & Mobileソリューション事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「ドキュメント・ソリューション事業」セグメントにおいて、特別損失の「のれん償却額」を183,286千円計上しています。当該のれんの減少額は、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会平成21年6月9日会計制度委員会報告第7号)第32項の規定にならって、連結子会社株式の売買処理に伴って、のれんを一括償却したものです。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	212,295
セグメント間取引消去	442
のれんの償却額	15,347
四半期連結損益計算書の営業利益	197,390

後略

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	963.09	334.80
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	160,771	55,889
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	160,771	55,889
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間については希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、また、当第3四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	134.88	448.39
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	22,515	74,849
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	22,515	74,849
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間については潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため、また、当第3四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバルテレコム

取締役会 御 中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 須永 真樹
業務執行社員

指定社員 公認会計士 小松 亮一
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルテレコムの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバルテレコム及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年2月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。